

令和5年5月吉日

## 第71回全国百歳庭球トーナメント大会の終了にあたって

一般社団法人名古屋ローンテニス倶楽部  
会長 天野源之

謹啓 この度は、令和5年5月3日（水祝）に、第71回全国百歳庭球トーナメント大会を名城庭球場において、ペアで100歳を超える120組240名の選手の参加を得て開催いたしましたところ、92歳の最高齢者から20歳の最年少者までの選手が、日頃鍛えたテニス技術を競い、熱戦を繰り広げ、大会は盛会のうちに無事終了いたしました。

大会の開催にあたりまして、愛知県、名古屋市をはじめ、大会の運営に携わった関係者や当倶楽部の会員、ボランティアの方々のご尽力に感謝申し上げます。また、運営の趣旨にご協賛いただきスポンサーになっていただいた企業様、個人の方に、心より御礼申し上げます。

大会は、竹中一夫（74歳）・斉藤貴史（29歳）組 対 川出純（53歳）・森尚久（48歳）組の決勝戦となり、試合は、逆転に次ぐ逆転で、決勝に相応しい戦いとなりました。最後は、竹中・斉藤組が接戦を制し優勝を決め、大会が終了しました。（年齢は数え歳）

当大会のこれまでの71回を数える歴史の中で優勝されました竹中一夫様は最高齢優勝者であり、また、昨年は、ミックスダブルスのペアでの優勝で、長い大会の歴史で初めての女性の優勝者が出るなど、大会も多様化してきております。

来年は、2025年の完成を目指して名城庭球場にクラブハウスを建設するため、コート面数が減り9面での開催を余儀なくされますが、色々と工夫しながら本大会の更なる発展をめざして開催してまいる所存ですので、今後とも皆さまの一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆さまのご多幸・ご繁栄を祈念して、御礼のご挨拶とさせていただきます。

謹白